

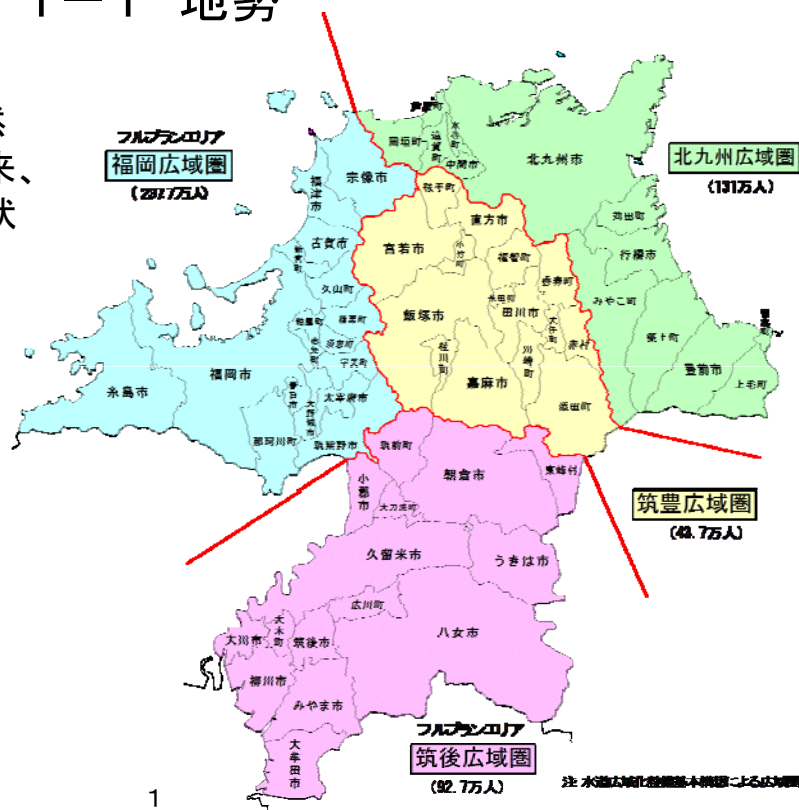
筑後川水系における 福岡県の水需給について



1 水資源の現況 1-1 地勢

■ 本県は、次のような自然条件的制約のため、元来、**水資源の確保が厳しい**状況にあります。

- ・県内に高い山が少ない。
- ・林野の割合
福岡県 **44.8%**
(全国平均65.7%)
- ・人口が集積している福岡・北九州都市圏では山の奥行きがなく、大きな河川が少ない。

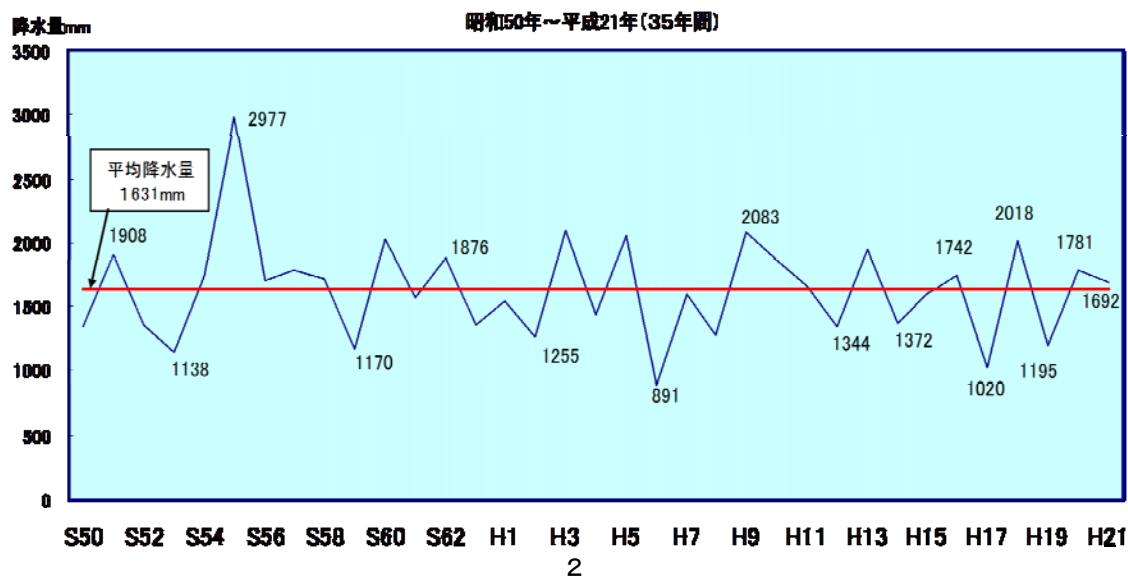


1-2 降水量

- 年間平均降水量は1,631mm（全国平均1,690mm）
- 人口一人あたりに換算すると福岡県は1,607m³/年・人と、全国平均5,007m³/年・人の約1/3に過ぎません。

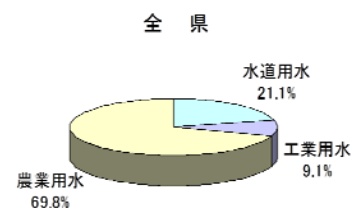
注：一人当たりの降水量＝年間降水量×面積÷人口

福岡管区気象台降水量の推移



1-3 水利用の現状(その1)

- 県全体の水利用は年間約24億m³でそのうち農業用水が約70%、水道用水が約21%、工業用水が約9%となっています。



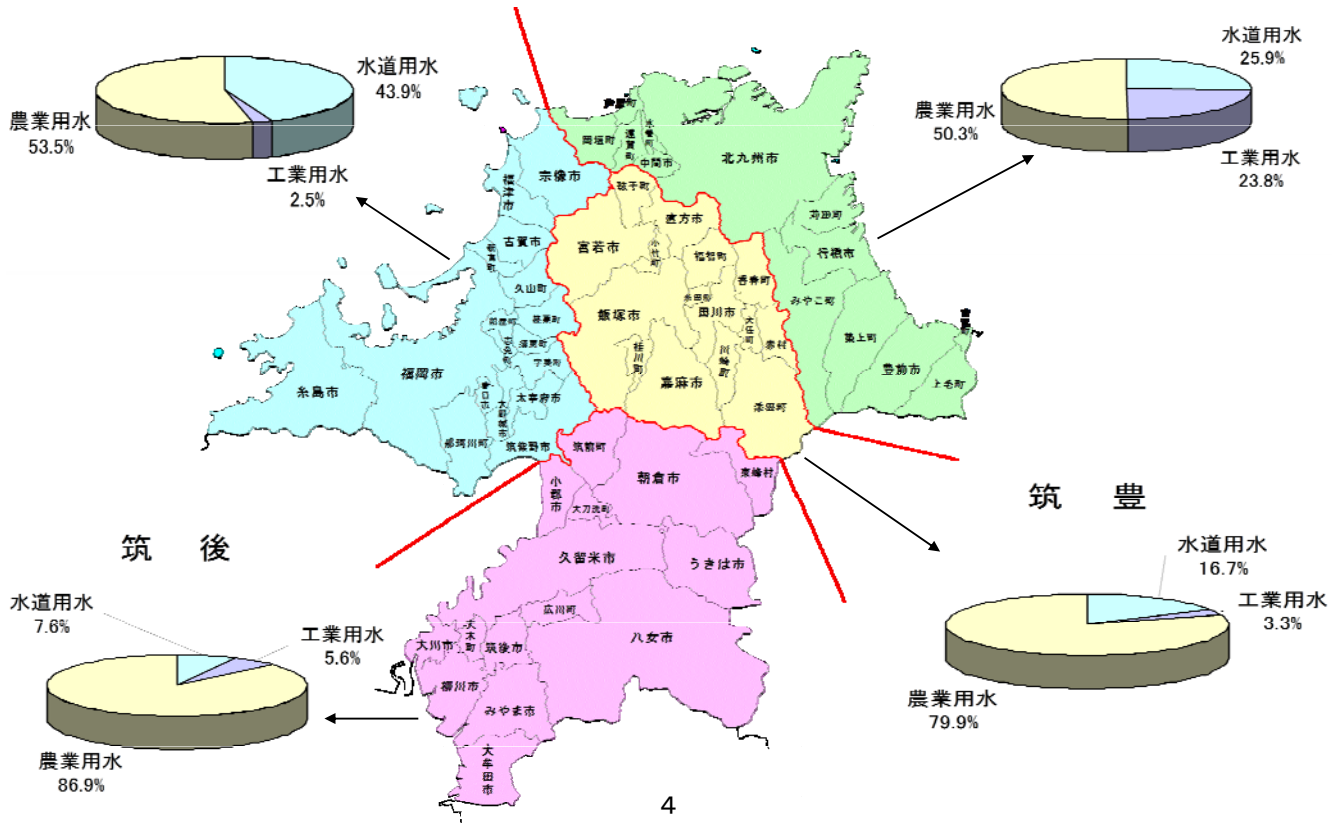
福岡県の水利用の状況(H20)

【年間】 (単位:百万m³/年)

地域・用途	水道用水	工業用水	農業用水	計	備考
福 岡	224 (43.9%)	13 (2.5%)	273 (53.5%)	510 (100.0%)	フルプランエリア
筑 後	73 (7.6%)	54 (5.8%)	839 (86.9%)	966 (100.0%)	フルプランエリア
筑 豊	50 (16.7%)	10 (3.3%)	239 (79.9%)	300 (100.0%)	
北九州	149 (25.9%)	137 (23.8%)	289 (50.3%)	575 (100.0%)	
全 県	495 (21.1%)	215 (9.1%)	1,641 (69.8%)	2,351 (100.0%)	

注：四捨五入の関係で集計が合わない部分がある。

福岡 1-3 水利用の現状(その2) 北九州



1-4 水道の普及状況

■ 本県の水道普及率は平成21年3月末現在、給水人口4,691千人で、総人口5,053千人に対し92.8%となっており、全国平均の97.5%に比べ4.7ポイント低い状況にあります。

広域圏別では、福岡地域が96.1%と最も水道普及率が高く、次いで北九州地域が95.5%、筑豊地域が94.4%の順であり、比較的地下水に恵まれた地域を抱える筑後地域が80.1%となっています。

◎ 現在給水人口と普及率（平成21年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,377,322	2,284,045	2,257,109	2,280	24,656	96.1%
筑後	927,116	742,324	710,573	16,621	15,130	80.1%
筑豊	437,556	412,964	404,807	6,664	1,493	94.4%
北九州	1,310,516	1,251,808	1,238,386	7,325	6,097	95.5%
県計	5,052,510	4,691,141	4,610,875	32,890	47,376	92.8%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上

1-5 渇水の状況

- 本県では、昭和53年以降、概ね2年に1回の割合で渇水が頻発し、とりわけ昭和53年と平成6年の渇水については時間断水を長期に強いられるなど県民生活に多大な影響を及ぼすものであった。
- 本県では、渇水時の事態に緊急に対処するため、必要に応じて渇水対策本部を設置し、市町村及び関係機関と連携をとりながら対策を講じています。

昭和53年以降の渇水対策本部設置状況

渇水年	渇水対策本部設置期間	
53年渇水	429日間	S53.5.29 ~ S54.7.31
57年渇水	33日間	S57.7.1 ~ S57.8.2
5年冬期渇水	120日間	H5.1.12 ~ H5.5.11
6年渇水	365日間	H6.7.6 ~ H7.7.5
7年冬期渇水	186日間	H7.12.19 ~ H8.6.21
11年冬期渇水	121日間	H11.2.25 ~ H11.6.25
14年渇水	213日間	H14.9.30 ~ H15.4.30
17年渇水	21日間	H17.6.22 ~ H17.7.12
18年冬期渇水	64日間	H18.2.8 ~ H18.4.12

6

1-6 昭和53年・平成6年渇水

昭和53年渇水

(昭和53年5月20日～昭和54年3月24日)

バケツに給水を受ける市民



- 制限給水日数 : 287日間
- 平均断水時間 : 14時間/日
- 給水車出勤台数 : 13,433台

平成6年渇水

(平成6年8月4日～平成7年5月31日)

貯水率が11.4%になった瑞梅寺ダム



- 制限給水日数 : 295日間
- 平均断水時間 : 8時間/日
- 給水車出勤台数 : 0台

7

2 水供給の現状

2-1 河川水(その1)

- 河川水は、古来より、農業用水として利用されてきましたが、年々増加する都市用水などの水需要に応じて、河川の流水を貯留して補給し河川流量を一定以上確保するため、ダムや河口堰などの水資源開発施設が建設されてきました。

建設中のダム

ダム	所在地	河川	事業主体	工期
伊良原	みやこ町(旧厚川町)	碓川	福岡県	S49 - H29
五ヶ山	那珂川町、東豊振村	那珂川	福岡県	S58 - H29
大山	大分県日田市(旧大山町)	赤石川	水機構	S58 - H24
小石原川	朝倉市(旧甘本市)、東峰村(旧小石原村)	小石原川	水機構	H4 - H27

水資源開発施設図

